

国見公民館だより

福井市鮎川町 133-1-3 TEL/FAX 88-2004 E-mail: kunimi-k@mx1.fctv.ne.jp

令和7年3月21日発行 第45号 (令和6年度第13号)

❖ 地区防災研修会

2月15日(土)午後、国見公民館にて自主防災組織連絡協議会の研修会と定期総会が開催され、関係者約50名が参加した。「避難所が長期化した場合における地区自主防災組織内の役割」についての市役所危機管理課担当者による講演では、能登半島における地震後の避難所の運営状況等が紹介され、長期化した避難所では避難している住民達により自主運営されることになるので、国見地区においても、あらかじめ自主防災組織内での役割諸分担を決めておく必要があるとのことであった。

また発災後、行政からの物的支援はある程度期待しても良いが、人的支援はあまり期待しないほうが良いとのことでもあった。講演の後「災害時の炊出方法(ハイゼックス袋による炊飯)の紹介」として日本赤十字福井県支部の担当者による実技研修があった。参加者からは「新しい知識が身に付き、大変為になった」との声もあった。研修会の後、引き続き自主防災組織連絡協議会の定期総会が開催され、令和7年度の事業計画や規約改正等が審議された。炊出しボランティアグループ員の追加募集も呼びかけられた。



❖ 防災リーダー研修会

2月16日(日)午前、福井市防災組織リーダー研修会が県自治会館にて開催され、市内各地区の防災組織幹部役員ら約60名が参集し、国見地区からは鈴木自治会長(大丹生)と梅村自治会長(白浜)が参加した。東日本大震災を経験した仙台市地域防災リーダーの大内幸子さんが講演し、震災時の避難所運営や震災後の取組等を紹介した。災害の規模が大きい場合、行政による支援(公助)には限界があり、住民が自ら行動すること(自助)や住民同士で助け合うこと(共助)が重要であるとのことであった。また全員参加型の防災訓練や防災教育の実例紹介があり、避難所運営には女性の視点が重要とも指摘していた。国見地区の各自治会でも事前の備えが必要だと痛感させられる。



❖ すこやか学級「健康教室」「閉講式」

3月11日(水)午前、すこやか学級の「健康教室」と「令和6年度閉講式」が行われた。地区のお年寄り約38名が国見公民館大ホールに集まり、福井市健康管理センターの佐々木保健師さんによる「健康講話」で骨粗しょう症予防について学び、その後、生涯体育学習振興機構の藤田有布子さんによる運動講座にて、参加者みんなで体を動かした。閉講式では館長から「フレイル予防のためにもすこやか学級で学んで健康維持して欲しい」との挨拶があった。

国見地区の老人会(寿クラブ、愛友クラブ)は共に新規会員を募集しています。興味がある方は公民館までご連絡ください。 ※フレイルとは・・加齢により心身が老い衰えた状態

❖ 家庭・地域・学校協議会

2月20日(木)午前、国見小学校と国見中学校にて令和6年度第3回目の「家庭・地域・学校協議会」があり、石丸小学校PTA会長、高橋中学校PTA会長、水上自治会連合会長、出見緑ヶ丘保育園長、刀祢地区社会福祉協議会長、山本地区育成会長、公民館長が参加した。

まず小学校体育館にて「6年生を送る会」を見学した後、中学校にて1、2年生の授業の様子を見学した。小学生は卒業生との最後の思い出をとゲームや合唱を伸び伸びと楽しんでいた。

協議会では、年度後半の行事についてそれぞれの校長先生が説明した。小学校ではマラソン大会、芸術体験活動、キラキラ発表会、岐阜県の小学校とのオンライン交流会等が、中学校で

は学校祭、和楽器演奏会、地区敬老会、マラソン大会等があったとのこと。特に中学校の部活動が大躍進し、柔道部は全国大会出場、卓球部はあと1セットで県大会出場だったとのことであった。部活動の地域移行については「令和7年度末をもって休日の部活動廃止」との説明があり、それに対し「地域の指導者が部活動を指導するには資格が必要なのでハードルが高い」等の意見が出されていた。



❖ 歴史講演会(実年会) & 総会

2月23日(土)午後7時から、国見公民館にて実年会主催の歴史講演会と実年会定期総会が開催された。研修会の講師は約20年前に、もともと先祖が住んでいた福井市国山町(殿下地区)に関西から移住し、泰澄大師の研究を続けている長谷川義倫(はせがわ よしみち)氏で、泰澄大師の謎に関する講演を24名が受講した。泰澄大師は架空の人物であるという説もある

が、当時の政権(天皇家や摂関家の藤原家)にとって都合の悪い存在であることから、歴史の記録から故意に抹消されたと思われる。福井市の西部地区は泰澄大師の活動と深い関わりがあることから「国見」「五太子」「殿下」「鷹巣」「丹生」等の地名が残っているとのことであった。総会には21名が出席し、令和7年度の事業計画等が審議され、●地区体育祭への種目参加●地区夏祭への出店●秋の「歩こう会」●宿泊研修●時局講演会●新規会員勧誘推進等が決定した。



❖ 第2回館長選考委員会 & 第4回運営審議会

令和7年3月1日(土)午後7時から、公民館長選考委員会と運営審議会が開催され、13名の館長選考委員を兼ねる運営審議会委員が出席(その他に2名の委任状)した。館長選考委員会では、1月17日までの公募の結果、現館長の松井氏以外の応募はなかったことが報告され、同氏を館長候補者として教育委員会へ上申することが決議された。運営審議会では、令和6年度の事業と決算報告(暫定)、令和7年度の事業と予算(案)、運営審議会委員の一部変更、令和7年度の重点実施事業等が審議された。令和7年度の重点実施事業としては①地域の未来創成研修会②地区子どもクリスマス会③しめ縄づくり講習会④スマホ講習会やエクセル教室等のICT(デジタル化)推進講習会⑤国見地区民作品展⑥世代間交流としてのすこやか研修会等が計画されている。松井館長は「国見に住んで良かったな」と地区の皆様が感じられるような事業を展開していきたいと事業内容等を説明した。

❖ 第77回優良公民館表彰受賞 文部科学大臣表彰式

令和7年2月28日(金)午前、文部科学省にて令和6年度の①社会教育功労者表彰②第77回優良公民館表彰③優良PTA文部科学大臣表彰④「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る文部科学大臣表彰の表彰式があり、武部 新(たけべ あらた)文部科学副大臣から各表彰者代表へ表彰状が授与された。優良公民館表彰には全国から65館(福井県から2館)が選出され、国見公民館も選ばれたことから、国見公民館運営審議会の水上委員長と辻岡副委員長、松井公民館長がオンラインで表彰式に参加した。国見公民館は防災に関する取組が評価され、福井県から内申されていた。川西地区から優良公民館が選出されたのは今回が初めてとのこと。これは10年以上前から地区自治会連合会や地区社会福祉協議会をはじめとする各種団体等が築いてきた国見地区独自の防災対応が認められたものであり、前館長や地区の先輩方の苦勞の賜物である。この表彰を契機に今後も防災取組をさらに充実させていくことが重要だと思われる。



❖ 地区自治会連合会 3月定例区長会 <3月3日(月)>の主な議題は次のとおり

- ①民生委員児童委員一斉改選：本年12月から新任期(3年)8月まで地区推薦準備会にて選出
- ②「海岸ごみクリーン作成2025」ボランティア募集中、各自治会も協力
- ③自主防災組織連絡協議会：6月22日(日)午前市内一斉避難訓練実施後、地区内研修会
- ④はたちのつどい(記念品配布)は各自治会長さんから
- ⑤体育振興会の令和7～8年度の新役員選出
- ⑥文化祭のメインイベント：エレクトーン演奏会とマジックショー等
- ⑦CATV幹線ケーブル補修工事の事前広報
- ⑧有線放送組合の今後(解散方針検討)
- ⑨国見地区自治会連合会費の納入
- ⑩自治会活動保険の申込
- ⑪デジタル回覧板：福井市が令和8年1月から全地区導入の見込
- ⑫将来の夢を語る会(中学校卒業生)：3月6日(木)午後 各自治会長も参加
- ⑬国見公民館世代間交流事業(学校再編と未来創造検討会)の結果による市への要望
- ⑭令和7年度 新規教育事業 (1)地域の未来創成研修会 (2)地区子どもクリスマス会 他
- ⑮源平交流会：6月20日(金)～21日(土)、一般参加者募集&各区長参加(代理も含む)

❖ 国見地区体育振興会定期総会

3月8日(土)午後7時から、国見公民館にて令和6年度の国見地区体育振興会の定期総会が開催され、役員約20名が出席し、令和6年度の事業及び決算報告や令和7年度の事業及び予算案が審議された。令和7年度の国見地区合同体育祭は5月18日(日)に午前中のみでの日程で開催することや国見地区球技大会を11月16日(日)に開催することなどが決定した。議題には役員改選もあり、石丸会長、山本理事長、長谷川会計担当理事が再任(任期2年)された。その他の議題では「各町内からの理事や実行委員の推薦が受け手が少なく困難になっている」「会長は国見地区自治会連合会が推挙することになっているが、理事長も同様な推挙制度にして欲しい」等の意見も出され、今後役員選出に関する規約の一部改正を検討していくことになった。

❖ 青少年育成福井市民会議 支部長会

2月21日(金)午後6時30分から、青少年育成福井市民会議支部長会議が福井市体育館にて開催され山本一彦国見支部長が参加した。会議では令和7年度の活動方針(案)が審議され「夕方見守り活動」「危険箇所点検」等が実施されることになった。国見支部でも7月中旬に例年どおりの危険箇所点検を実施する計画である。

❖ 国見小学校、国見中学校 卒業証書授与式

3月10日(月)国見中学校、3月11日(火)国見小学校にて、それぞれ令和6年度の卒業証書授与式(卒業式)がおごそかに挙行され、中学校からは4名の卒業生が、小学校からは10名の卒業生が旅立った。卒業式には児童、生徒、保護者、教職員の他に、地区の自治会連合会長、公民館長、社会福祉協議会長、保育園長が来賓として参加した。式では卒業生と在校生による合唱や思い出のふりかえり等があり、涙ぐむ参加者も見られた。



❖ 将来の夢を語る会 卒業記念植樹(国見中学校)

3月6日(木)午後、国見中学校を卒業する3年生を対象に公民館の青年教育事業として「将来の夢を語る会」を開催し、中学校生活の記念になるよう「ポーセラーツ」で陶器の食器への絵付け作業を行ない、オリジナルの皿や茶わんを制作した。その後、4人の3年生が力を合わせて、卒業記念の桜の苗木を校庭に植樹した。生徒達は「高校に入ったら資格を取れるよう勉強したい」「消防士



を目指して高校の勉強を頑張る」

「高校生になったら友達をいっぱい作って楽しみ、スポーツ選手を目指したい」等将来の夢を語ってくれた。具体的な職業を目標として持っている生徒がいたことに感心した。このイベントはふるさと国見への愛着心を高めてもらうために「いきいき国見」や「国見青少年育成会」との共催事業として行なった。

❖ 令和7年度 第1回公民館運営審議会(公民館協力員との合同委員会)

4月19日(土)午後7時から、国見公民館にて、令和7年度の第1回公民館運営審議会が公民館協力委員との合同委員会として開催し、令和6年度の事業結果報告や令和7年度の事業計画等を審議します。公民館運営審議会委員と公民館協力委員の皆様のご出席をお願いします。